

天狗りレー

自慢は
ハンマー投三尺八

が征く。放し、自分に適した技術作らない。自分の技術は

仲々思う様にならない。投げるのは腕でするのではなく、脚で投げる、体で投げるのである。だと島掛コーチは走らせる。苦しい練習を積むに従つてだんだん体の骨組みもしつかりしてきたようだし、記録も上つて五年生のミドルには一二米七七で第5位に入賞した。翌年ハンマー王國明大に入り長尾、落合、古山の卒業した後の伝統を守れと集つた總積、永車、飯田、藤田、中村、村田のハンマー軍の中に入つてハンマー投を始めた。一年春秋の関東インターハイレッヂに五位に入賞した。翌年三月には四四米に伸し、二年になつてから四六米まで記録を上げ、インター、カレッヂや全日本選手権には常に上位入賞する様になつた。私が三年の時弟庄兵衛も明治入りしてハンマー軍に加わり、阿部兄弟で鳴らしたものだ。当時の明大のハンマーの練習は大形の男ばかり七、八人がグラングランは凸凹だらけにし危ぶなくて走れたものではつもない願望に胸を焦すのだった。

ない」と躍躍やドラックの連続から苦情が出来る程で、それは壯麗なものであつた。彼女の浴場では鏡の前でフオームの練習をし、床板を落すやら危ぶながられるやら迷惑がられ、氣狂いあつたがいいにされたが代田橋の名物となつた。こんな空氣の中で同僚同士で競り合うのであるから強くならない筈はない。この頃鹿児島からボーッと出て来た兒島フミを私がコチラした。明大流の荒いコチラであったがよく堪えた。彼女は日本の第一人者となり、長く日本記録を保持し、ベルリン、オリンピックへも行つた。

明治のハンマーの阿部はつらいばかりで能がないと言るのは當らない。これでも尺八は準名人の腕があり茶道にも心得がある。昭和九年だつたか極東大會問題でインター・カレッヂから明大と早大がオミットされ競技会出場を停止され皮肉の嘆をかこつていた頃、うざ晴らしに始めた尺八に意外な進況を示し、温習會には名家の一派の令嬢二宮(直)様や西巻(進)様、

公務の隙々に東奔西走される長谷川様、炎天下テク寄附金募集に歩かれる諸君や、郷里中鱗石の友人達が鍼を持つて人夫の運ぶ土均しをされる洲崎様等の姿には、全く頭が下るのであります。田中及劍野の青年思ふと、棣と私は、相抱えて聲を限りに泣いたものでした。(中略)

第二回県下市町村野球大會は各郡市の豫選で勝ち残つた前年の覇者新潟市役所以下十五市町村役場チームが集り、十月六、七日柏崎市、柏高、柏工、柏商の三球場を使用して行われた。

一回戦では刈羽郡代表の

第2回縣下市町村 野 球 大 會

柏崎市役所惜敗す

柏工の抬頭

秋の高校野球

柏工堂々二連霸

柏商は柴野、闇の闘将を有しながらメンバー一不揃で七位に留つたこと、出場すれば相当の喰い込みがあつた筈は柏農が不参加であつたことは残念であつた。個人的に視れば同記録の最高ラップをあげた奈藤(松高)、金子(柏工)の実力は五〇〇〇米一六分五〇秒台で勝れていた。全体の個体人ラップの中十位までに柏人が金子、村山、塚原の三人が高橋井、柏商が闘引き続いて本年度も明春まで柏崎勢が入った。一月大阪で行われる全国高校校選手権に参加する資格を得たが、後二ヶ月余の練習は引き続いて、五〇〇〇米換算十七分三十五秒台程度であるから十七分〇〇米を疾駆する練習法を取り入れただが、後二ヶ月余の練習はもつとスピードを増すスピード練習が必要であり、五人まで柏崎勢が入った。これが柏崎工業は昨年に於いても昨年の二十五位よりもぐつて上つて十位に入り得よう。

ともあれこの雨の大会に健闘した選手諸君に敬意を表し併せてこの様な素朴健な競技の発展を望んでやまぬ。

成績

①柏工 A (村山保、柄畠、関川、村山(忠)、横関、金子、塚原) 二時間一四分五一秒

②村松高 二時間一七分四一秒

③佐渡農 二時間二〇分三一秒

④柏高 (小林、南波、根立、森田、猪俣、竹田、坂井)

二時間二三分三五秒

⑤高田高 二時間二二分五一秒

⑥柏商 (黒崎、村山、柴野、小林、村山、高野、闇)

二時間二三分三五秒

⑦柏工 B (植木、松永、聿澤、千原、下條、高橋、大橋)

二時間二四分一秒

⑧金子二三(柏工)

⑨斎藤 実(松高)

①金子二三(柏工)

②村山保男(柏工)一八分三八秒

③坂井勝雄(柏高)一八分五一秒

④西協良平(長高)

⑤江島勝(吉川)

一八分五八秒同記録

⑥塚原祐助(柏工)一九分一秒

⑦村山榮司(柏商)一九分一秒